

警 防 編

1 消防力の現況

(1) 消防職員の現況

区 分	消防本部	中央署	西 署	東 署	合 計
警 防 要 員		69	39	57	165
救 急 要 員		24	12	12	48
警 防・救 急 要 員			68		68
予 防 要 員	14	2	2	2	20
そ の 他 の 要 員	41	1	5	1	48
合 計	55	96	126	72	349

(2) 消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	434	7	441

(3) 消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m ³ 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m ³ 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	196	11			207
鉄 西	248	33		1	282
白 糠	126	43			169
阿 寒	86	13			99
阿 寒 湖 温 泉	25	8		1	34
音 別	22	26			48
愛 国	146	31			177
鉄 北	226	36		1	263
橋 北	117	48	1	2	168
橋 南	312	89	1	3	405
春 採	147	31			178
白 樺	36	2			38
合 計	1,687	371	2	8	2,068

(4) 消防車両等の現況

管理区分		消防本部		中央署		西署		白糠支署	東署		消防団		合計
種別													
消防ポンプ自動車	普通 (予備)			1	6	1	9		1	4	19	21	40
	水槽付 (予備)			5 (2)	(2)	8 (1)	(1)	白糠 2	3	(1)	(1)	(1)	(5)
はしご車	直伸 (予備)			1	2	1	1			1			4
	屈折 (予備)			1					1				
特殊車	化学消防車			1	1	1	1		1	1			3
	大型高所放水車												0
	泡原液搬送車					1	1						1
	小型梯子			1	1								1
	救助工作車			1	1								1
	災害支援車								1	1			1
	小型動力ポンプ付水槽車			1	1	4	4	白糠 1					5
	小型動力ポンプ積載車										8	8	8
救急車 (予備)				3	3	8	8	白糠 2	2	2			13
				(1)	(1)	(3)	(3)	白糠 (1)	(1)	(1)			(5)
その他の車両	緊急車	6	6	3	3	10	10	白糠 3	2	2	1	1	22
	その他	2	2	3	3	2	2		2	2			9
合計			8		21		36	白糠 8		13		30	108
(予備車)					(3)		(4)	白糠 1		(2)		(1)	(10)

() 内及び白糠支署は内数

2 警防体制

(1) 警防体制

釧路市は地震多発地帯に位置し、かつ市街地は川によって3分割されていることから、消防体制としてこれらの地域が独立して警防活動ができるように消防部隊を編成している。

ア 消防本部部隊編成

司令本部 ——— 指揮本部 ——— 31 隊
 救急隊 ——— 8 隊

イ 釧路市の消防団部隊編成

消防団司令本部 ——— 17ヶ分団消防隊

(2) 出動計画

ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

(ア) 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	9台～10台	火災を覚知した時
第2出動	13台～14台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	20台～22台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

(イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

(ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画にのっとり、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

(3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 24事業所

- ・クレーン部会(6事業所)
- ・重機部会(5事業所)
- ・鉄工部会(2事業所)
- ・解体部会(2事業所)
- ・鳶工部会(7事業所)
- ・潜水部会(2事業所)

(4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『釧路市空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 13,879,48 m²、40m³級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置5基)が昭和61年11月29日に完成を見た。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

3 火災・警戒出動概要

平成 21 年中の出動状況は 76 件の火災が発生し、車両延べ 528 台、職団員延べ 2,738 名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	4	26	6	32	115	71	186
2 月	4	17	4	21	67	51	118
3 月	6 (2)	27	10	37	110	81	191
4 月	20 (4)	103	21	124	422	206	628
5 月	11 (1)	39	9	48	153	85	238
6 月	3	33	9	42	115	94	209
7 月	6	45	10	55	178	138	316
8 月	2	12	2	14	43	25	68
9 月	6	42	8	50	173	113	286
10 月	5 (1)	30	10	40	107	89	196
11 月	4 (1)	26	5	31	103	39	142
12 月	5 (1)	29	5	34	108	52	160
合 計	76 (10)	429	99	528	1,694	1,044	2,738

()は、白糠町の内数

(2) 過去 5 年間の火災出動状況の推移

区 分年	火災件数	出 動 台 数 (台)			出 動 人 員 (名)		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 17 年	89(8)	412	88	500	1,715	1,005	2,720
平 成 18 年	80(7)	428	103	531	1,839	1,207	3,046
平 成 19 年	113(8)	529	108	637	2,281	1,128	3,409
平 成 20 年	91(11)	437	84	521	1,778	920	2,698
平 成 21 年	76(10)	429	99	528	1,694	1,044	2,738

()は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

年区分	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
出 動 件 数	506 (37)	573 (44)	506 (24)	692 (44)	470 (39)
集合煙突	5	6 (1)	1	8 (1)	5 (1)
焚き火	8	17 (2)	6	9	2
電柱	0	1	6	4	
異常燃焼	6	11	9	17 (1)	8
油関係	123 (4)	150 (6)	135 (1)	101 (4)	85 (3)
ガス関係	8 (1)	5	7	8	5 (1)
自火報	77 (8)	53 (2)	56 (6)	53 (3)	57 (2)
漏電警報器	0	4	2	2	3
非常警報	1	3	4		4
緊急ボタン	3 (2)	10 (5)	17 (1)	19	2
危険排除			59 (3)	223 (9)	37
その他	275 (22)	313 (28)	204 (13)	248 (26)	262 (32)
出 動 台 数	796 (60)	826 (45)	820 (33)	1,114 (85)	861 (66)
出 動 人 員	3,703 (191)	3,951 (141)	3,702 (141)	5,279 (354)	3,934 (269)

()は、白糠町の内数

4 救助出動概要

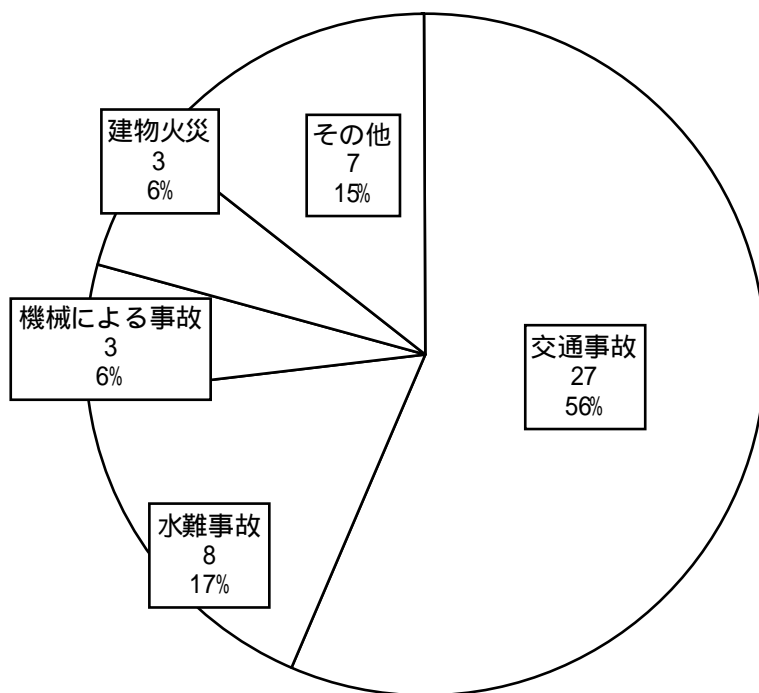
平成 21 年中の救助出動は 48 件発生し、車両延べ 233 台、人員延べ 1,026 名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

(1) 前年比救助出動状況

区分	年	平成20年		平成21年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数		54 (5)	47 (3)	48 (4)	62 (6)
交 通 事 故		24 (2)	28 (1)	27 (3)	31 (5)
水 難 事 故		13 (2)	8 (2)	8	7
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故		1	1	3 (1)	15 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故		1			
建 物 等 に よ る 事 故		2	3		
爆 発 事 故					
そ の 他		13 (1)	7	10	9
出 動 台 数		252	(24)	233	(16)
出 動 人 員		1,075	(92)	1,026	(65)

()は、白糠町の内数

(2) 事故種別救助出動状況



(3) 月別救助出動状況

区分	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	2	6	6	4	3	1	7	6	5	1	3	4	48
交 通 事 故	1	6	3	1	3	1	4	1	4		1	2	27
水 難 事 故			2				2	2		1	1		8
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故				1								2	3
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													0
建 物 等 に よ る 事 故													0
爆 発 事 故													0
そ の 他	1		1	2			1	3	1		1		10
出 動 台 数	6	28	28	15	15	6	40	21	32	4	23	15	233
出 動 人 員	25	114	111	62	62	23	197	94	147	15	114	62	1,026
救 出 人 員		8	7	3	1	2	11	3	4	1	3	19	62

(4) 署々別救助出動状況

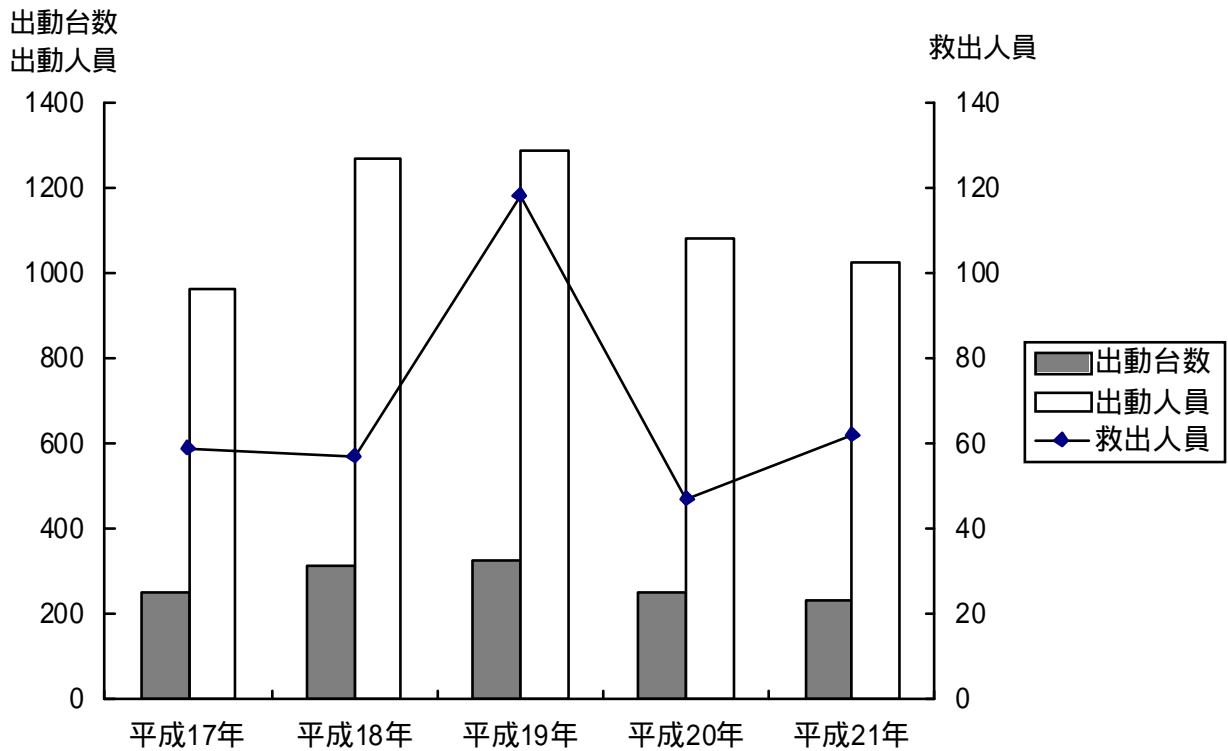
区分	月			
	中央消防署	西消防署	東消防署	合計
出 動 件 数	13	26 (4)	9	48 (4)
交 通 事 故	7	19 (3)	1	27 (3)
水 難 事 故	3	1	4	8
自 然 災 害				
機 械 に よ る 事 故		2 (1)	1	3 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故				
建 物 等 に よ る 事 故				
爆 発 事 故				
そ の 他	3	4	3	10
出 動 台 数	74	110 (16)	49	233 (16)
出 動 人 員	302	507 (65)	217	1,026 (65)
救 出 人 員	11	30	21	62 (6)

()は、白糠町の内数

(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	月	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
出 動 件 数		77 (13)	78 (11)	75 (8)	54 (5)	48 (4)
交 通 事 故		52 (12)	55 (8)	49 (8)	24 (2)	27 (3)
水 難 事 故		12	10 (1)	15	13 (2)	8
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故			5 (2)	1	1	3 (1)
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					1	
建 物 等 に よ る 事 故		2	3		2	
爆 発 事 故						
そ の 他		11 (1)	5	10	13 (1)	10
出 動 台 数		248 (15)	314 (18)	322 (28)	252 (24)	233 (16)
出 動 人 員		964 (44)	1,266 (71)	1,288 (123)	1,075 (92)	1,026 (65)
救 出 人 員		59 (4)	57 (4)	118 (6)	47 (3)	62 (6)

()は、白糠町の内数



5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

(1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適 用	
有線 電 話	消防 救 急 指 令 台	119番回線	4(0)回線	INS回線(一般・携帯・IP全て重畳)、同時回線
		一斉指令・署所端末回線	40(0)回線	署・支署・救急・音声指令・指令電送
		一斉指令・署所端末回線白糖用	1(1)回線	DA128
		指令台用局線	2(0)回線	INS回線 同時4回線
		順次指令用局線	2(0)回線	INS回線 同時4回線
		孤立防止回線	2(0)回線	衛星回線(受信専用2)
		支援システム回線白糖用	1(1)回線	光回線
	一 般	加入電話	27(2)回線	本部・署・支署、1~12分団(INS回線 電話・FAX)
		災害静報自動案内	1(0)回線	災害等案内(NTT側設備で100回線)
		内線電話	259(12)回線	本部・署・支署、1~12分団(NTT専用線)
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	2(1)回線	本部経路結果 白糖支署に設置

市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現(指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等)

白糖支署DA64回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

()内は白糖支署内数

(2) 無線通信施設

区分・種別	施設数	摘 要	
無 線 設 備	基 地 局	25W(本部) - 移動局 受令機に対する災害指令	
		10W(中央消防署・西消防署・東消防署・阿寒支署・阿寒湖支署・音別支署・白糖支署)	
	固 定 局	陸上移動局に対する通信	
		25W(本部) - 固定局に対して通信	
	陸上移動局	支署及びセンター	支署 5局, 地区防災センター 9局
		車 載	100局(16局) 消防車 86局(14局), 救急車 12局(2局), 注) その他 2局
受 信 機	携 帯	123局(18局) 10W 4局, 5W 102局(18局), 1W 17局	
	指令端末用受信機	15台 署・支署 14台, 職員住宅 1台	
そ の 他	受 令 機	197台 署・支署 108台, 分団 63台, 本部 26台	
	携 帯 電 話	16台(4台) 通信指令課, 警防課, 中央救急, 西救急, 愛国救急, 武左救急, 白糖×4, 阿寒, 音別, 阿寒湖×2, 市立病院, 医師会病院	
	衛 星 携 帯 電 話	4台(1台) 救急阿寒湖, 救急音別, 救急白糖 1、救急阿寒	

()内は白糖支署内数

(3) 無線局チャンネル及び周波数

チャンネル	周波数	通常時	大規模災害時
第1	149.71MHz	活動波 2	中央方面本部活動波
第2	152.79MHz	同報波	情報波
第3	150.73MHz	全国共通波 1	
第4	150.35MHz	メイン	西方面本部活動波
第5	151.31MHz	活動波 3	東方面本部活動波
第6	148.75MHz	全国共通波 2	
第7	154.15MHz	全国共通波 3	
旧西部波	149.75MHz	旧西部消防組合波	
救急波	147.50MHz	本部送信	
救急波	143.50MHz	救急車両送信	

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	70	272	28	7903	6721	14994
	(8)	(19)	(4)	(425)	(218)	(674)
119FAX	0	0	0	1	1	2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
加入電話受付	4	123	7	275	-	409
	(1)	(5)	(0)	(10)		(16)
警察電話受付	2	26	8	81	-	117
	(0)	(6)	(0)	(2)		(8)
無線受付	0	31	2	43	-	76
	(0)	(8)	(0)	(1)		(9)
駆けつけ通報	1	2	0	24	-	27
	(0)	(0)	(0)	(8)		(8)
その他	4	17	1	17	-	39
	(0)	(1)	(0)	(2)		(3)
合計	81	471	46	8344	6722	15664
	(9)	(39)	(4)	(448)	(218)	(718)

各項目下段()内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

上表(4)災害通報等受付件数のその他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	1194	1162	828	796	95	37	2610	6722

災害通報等受付件数は実際に入電した件数であり、実災害件数とは異なる

6 研修及び訓練実施状況

(1) 研修

種別	項 目		対 象 及 び 内 容	期間・回数	人員・時間	
本 部 研 修	資格取得		大型自動車運転免許取得	1回	8人	
			無線従事者免許取得	1回	1人	
			潜水土資格取得	1回	2人	
	派 遣	病 院 実 習		救急救命士資格者	3回	48人
		消防学校		初任教育前期	101日間	6人
				初任教育後期	101日間	6人
				専科教育救急科	34日間	7人
				気管挿管講習(白糖)	9日間	1人
		消防大学		専科教育救助科	37日間	1人
				専科教育救急科	34日間	1人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	6回	31人	
	新規採用職員研修		平成21年度採用職員	1回	7人	
	専科研修		上級救命講習	1回	7人	
水難救助特別教育			1回	4人		
予防課程			12回	298人		
警防課程			4回	168人		
特別研修		消防職員意見発表会	1回	7人		
		消防職団員研究発表会	1回	6件		
所 属 研 修	係 別	消 防 隊 研 修		中央消防署	207回	263時間
				西消防署	262回	411時間
				東消防署	273回	305時間
	研 修	救 助 隊 研 修		中央消防署	219回	366時間
				西消防署	188回	212時間
				東消防署	122回	153時間
	救 急 隊 研 修		救急資格者研修	888回	1281時間	

(2) 訓練

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間
本 部 訓 練	演 習	春 季 消 防 演 習	観閲	1回 28台465人
		秋 季 消 防 演 習	慰霊祭・団競技大会	1回 28台467人
		釧路市防災総合訓練	9月3日	1回 153人
	各 種 訓 練	水 難 救 助 訓 練	泳法及び潜水訓練	20回 67人
		消 防 活 動 技 能 訓 練	指定された隊員	4回 91人
		救助技術訓練指導会訓練	指定された隊員	52日間 6人
		潜 水 士 養 成 訓 練	指定された隊員	6日間 5人
	大会	全道消防救助技術訓練指導会	札幌市(7月18日)(障害突破)	1回 6人
所 属 訓 練	係 別	消 防 隊 訓 練	中央消防署	870回 978時間
			西消防署	1486回 1,621時間
			東消防署	1042回 1287時間
	専 科	救 助 隊 訓 練	中央消防署	1502回 2,510時間
			西消防署	587回 604時間
			東消防署	648回 842時間
		救 急 隊 訓 練	救急資格者研修	1333回 1,394時間

(3) 消防団

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間	
研 修 訓 練	資 格 取 得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1回	3人	
		特 別 研 修	女性消防団員研修	1回	38人
	機関教養		2回	34人	
	予防教養		34回	267人	
	幹部教養		1回	27人	
	視 察 研 修	消防団員技能競技大会視察	1回	18人	
		北海道消防学校入校	消防団員普通教育(男)	1回	2人
			消防団員幹部教育	1回	
	競 技 大 会	釧路市消防団員	ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団	37人
		北海道消防協会 釧路地方支部消防団員 技能競技大会	釧路市(9月12日) ポンプ自動車・小型ポンプ	7ヶ分団	37人
	規 律 訓 練	防 ぎ よ 訓 練	訓練礼式	18回	221人
			競技訓練	77回	770人
			署・団合同訓練	17回	170人